

まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門・“はじめの一步”部門」
まちづくり活動提案書

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

提案名	子育てママが地域をつくる ～まちづくりの一環としての「楽しく育てる」「みんなで育てる」 子育て応援活動 セカンドステップへのチャレンジ～		
団体名	moms. (ママズ)		
提案の活動を行う地域	主に名古屋市西区		
提案の内容	<p><u>1. 子ども・ママ・親子のための「講座」の開催</u> 親子のふれあい、運動、知育を目的としたものや、ママのためのお勉強講座を開催。単発のみでなく、同じ内容で複数回実施するものも企画し、参加者同士のつながり作りを手伝う。</p> <p><u>2. 「継続講座」の開催</u> 親子が気軽に取り組めるよう、低料金のお稽古事を開催。仲間作り、居場所作りとしての役割も担う。</p> <p><u>3. 不定期「イベント」の開催</u> 世代間交流や、地域をまきこんだ活動のきっかけ作りを目的としたイベントを開催。秋に子育て世代のコミュニケーションとリサイクルを目的とする「子育てフリマ」を開催予定。冬には昨年好評だった「地域ふれあいコンサート」を開催し、子育て中の親子、地域の方々に癒しの場を提供すると共に、地域交流を図る。</p> <p><u>4. セカンドステップ「つなぐ」への取り組み</u> 地域全体での支えあいによる子育て支援の実現に向けて、様々なつながり作りに取り組む。「人と人をつなぐ」「地域をつなぐ」「情報をつなぐ」を大きな柱とし、新たな課題にチャレンジする。</p> <p><u>5. 「託児」ボランティアの育成・運営</u> 核家族で暮らす親が学ぶチャンス、リフレッシュする機会を得られる環境を創出するため、託児スタッフを育成し、託児付講座を開催。託児スタッフには社会と関わる機会を提供し、視野を広げてもらう手伝いをする。</p> <p><u>6. 「広報」活動</u> moms.の活動・情報を提供するに留まらず、地域の子育て情報を集約して掲載。地域全体の子育てに役立つホームページ運営を目指す。昨年度作成したサイトの携帯版を作成し、若い子育て世代のニーズにも応える。また、昨年度作成した活動のしおりを、リニューアルする。</p>		
活動期間	平成23年4月～平成24年3月	助成金交付申請額	50万円

2 提案内容について

「1 提案の内容」について、以下の4つの視点で具体的に活動内容をご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か 					
(提案活動の必要性について上記観点から分かり易くご記入下さい。) ※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。 ● <u>昨年の活動成果から生じた必要性</u> 「つどう」…居場所作りとして、今後も安定的に継続する必要がある 「つなぐ」…昨年度の活動に参加した母親は、外に出る力を持つ人。外にでられず本当の意味で支援を必要としている人への接点作りの必要がある。 ● <u>地域の特色に伴う必要性</u> <ul style="list-style-type: none"> ・転勤による転入者が多く、知り合いのいない土地での子育てに、不安と孤独を感じている人が多いこと ・若い世代の多くが核家族であることから、子育て世代間のつながりはもちろん、地域とのつながりが希薄なものとなっていること ・支援者がそれぞれ、独自に活動していて、つながりが少ないこと 						
審査基準② 独創性	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか 					
(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ● <u>子育て中の親が支援者となるスタイル</u> ⇒新しい育児支援の形を開拓 ● <u>これまで地域になかった支援を提供</u> ⇒ママ講師の活用、託児付講座など ● <u>マタニティ支援</u> ⇒出産前につなぐをつくって、外に出る力をつけてもらう 親になりきれないまま、親になってしまう人が少なくなく、子育て力の低下が近年顕著となっている。しかし育児支援の多くは産後の親子向けのものが多く、親になるための手伝いをする機能は現状では少ない。 (行政が行う産前の数回の母親教室のみ) 行政に任せきりにせず、社会がフォローするシステムが必要とされる。 ● <u>子育て支援にまちづくりの要素を取り入れる</u> ⇒つどう・つなぐ・はぐくむ						
審査基準③ 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容が具体的にになっているか ・事業予算は妥当か 					
時期	活動内容					
	1 講座	2 継続講座	3 イベント	4 つなぐ	5 託児	6 広報
平成23年4月	↓	↓	フリマ コンサート	行政	ヨガ ヨガ コーチング ヨガ カラー 交流会 交流会	↓
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						
平成24年1月						
2月						
3月						

助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書(ページが不足する場合は別紙にご記入下さい。)

活動項目	内訳	金額(円)
別紙記載の通り (別紙1)		
計		

審査基準④ 発展性

- ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
- ・助成後に地域まちづくり活動への波及効果があるか

(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

●活動の3ステップ 「つどう」⇒「つなぐ」⇒「はぐくむ」

昨年度設定した、上記3ステップに基づいて、今年度も活動を進展させていく
今年度は「つどう」を継続しながら、「つなぐ」にとりかかる

☆「つどう」…場所提供の安定的継続

☆「つなぐ」

- ①人と人をつなぐ…子育て世代間(場所作り活動にて継続)
支援者間(サークルのつながり作り⇒名古屋市社協の支援)
マタニティ(交流会、情報の発信、赤ちゃん家庭と交流)
- ②地域とつなぐ…行政とつながる(区の子育て支援会議参加、情報誌編集参加、イベント開催)
賛助会員募集(自立的展開準備)
イベント(子育てフリマ、コンサート)
- ③情報をつなぐ…子育てカレンダー(名古屋市社協の支援有)

☆「はぐくむ」つながった関係を、支えあいのできるより良い関係にはぐくみ
子育てしやすいまちづくりへと進展させていく

審査基準⑤ 活動実績と主体性

- ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか
(団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等をご記入ください。)
- ・具体的にどんな熱意を注いでいるか

※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。
※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。
この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。

団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。

現役子育てママが集まり、これまでの経験を元に子育て応援活動を始めました。
みんなの「あったらいいな!」を実現し、ママ目線の新しい支援の形を開拓して
いきます。また、子育てにかかわるネットワークを形成し、助け合いができる
関係を作り直しながら、地域の子育て力を向上させ、「楽しく育てる」
「みんなで育てる」まちづくりの一環としての、子育て応援活動を
進めていきます。

※昨年度の活動内容と成果については、別紙2の通り

※第2号様式は、3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とします。

(別紙1) 4 助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書

活動項目	内訳		金額(円)
1. 講座 (30回)	諸謝金	講師謝礼金	300,000
		託児スタッフ謝金	55,000
	使用料賃貸料	会場使用料	55,000
	消耗品費	材料費	5,000
		事務用品購入費	5,000
	印刷製本費	コピー代	8,000
	保険料	損害保険料	18,500
2. 継続講座 (33回)	諸謝金	講師謝礼金	330,000
	使用料賃貸料	会場使用料	8,400
	消耗品費	事務用品購入費	6,000
	印刷製本費	コピー代	6,000
	保険料	損害保険料	24,000
3. イベント (2回)	諸謝金	講師謝礼金	40,000
		見守りスタッフ謝金	10,000
	消耗品費	材料費	5,000
		事務用品購入費	6,000
	使用料賃貸料	会場使用料	5,000
	印刷製本費	コピー代	10,000
	通信運搬費	郵送費	1,000
4. つなぐ	諸謝金	協力者謝礼金	5,000
	使用料賃貸料	会場使用料	4,200
	消耗品費	事務用品購入費	2,000
		材料費	6,000
	印刷製本費	コピー代	10,000
5. 託児	諸謝金	講師謝礼金	10,000
	使用料賃貸料	会場使用料	2,800
	消耗品費	事務用品購入費	2,000
		託児用備品購入費	10,000
	印刷製本費	コピー代	2,000
6. 広報	諸謝金	携帯サイト作成委託謝金	100,000
	消耗品費	事務用品購入費	2,000
	印刷製本費	コピー代	5,000
		しおり印刷代	20,000
計			1,078,900